

2022年8月16日

社長メッセージ
～2022年12月期 第2四半期の決算発表を終えて～

株主の皆様におかれましては、平素より格別のお引き立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

日本時間の2022年8月12日、2022年12月期 第2四半期の決算発表をいたしました。米国ではForm10-Qの、日本では決算短信のファイリングを無事に終了いたしました。

早いもので、今期も折り返し地点を過ぎました。振り返ってみますと、国際紛争問題、急速なインフレなどの社会情勢が大きく変動いたしました。徐々にウィズコロナへの移行が開始したようにも思える一方で、依然として新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響は大きいままです。

そのような中におきましても、当社の研究開発活動を概ね予定通りに進捗させることが出来たことは、素直に嬉しく思いますとともに、支えてくださる沢山の方々へ感謝の気持ちをお伝えしたいと思います。

MN-166では、急性呼吸窮迫症候群（ARDS）の発症リスクがある重症COVID-19入院患者を対象とする第Ⅱ相の試験では、設定された臨床効果主要エンドポイントにおいてプラセボ（偽薬）と比較して呼吸不全からの回復で大きな改善を示した他、副次評価項目でも良好なトップラインデータを得ることが出来ました。また、米国政府機関BARDAとの共同開発プロジェクトでも、詳細は未だお伝えすることが出来ませんが、ヒツジのモデル試験における心強い成果を受け、共同開発の契約期間を延長し、さらに開発を進めることとなりました。さらに、かねてから開発を進めてきました非経口製剤のプロトタイプも完成し、MN-166の使用方法や適応範囲の拡大に大きな期待が持てることとなりました。

MN-001でも、NAFLD（非アルコール性脂肪性肝疾患）・2型糖尿病・高中性脂肪症を対象とする第Ⅱ相の試験を開始することが出来ました。この試験は、過去に実施した試験や基礎研究より得られたデータ・知見を基にデザインされており、糖尿病におけるMN-001の脂質プロファイルの改善効果を評価するものです。成功すれば、第Ⅲ相、ピボタル試験に直結する試験になると期待しています。

上記の他にも、アカデミアや研究機関との共同研究等においても成果を上げることが出来ており、実り多い上半期であったと考えております。

今期も残すところ5カ月を切りました。一年を通して実り多い年であったと皆様にご報告できるよう、下半期も役職員一同、力を尽くして業務に取り組んでまいりたいと思います。引き続きのご支援ご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

以上

メディシノバ・インク
代表取締役社長兼 CEO
岩城 裕一